

令和3年度 事業報告書

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団

令和3年度 事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

概要

札幌市生涯学習センター

改修工事のため、1月末まで休館していたが、センター前広場の臨時カウンターにおいて、さっぽろ市民カレッジの講座申込みのほか、貸室受付や図書資料の貸出業務等を行った。

昨年10月からは、新型コロナウイルス感染症の予防を図りながら、さっぽろ市民カレッジの講座を再開したほか、コロナ禍における継続的な学習機会のあり方を検証するために、ラジオ講座とオンライン講座を試行的に実施した。

また、イトーヨーカドー福住店内のサテライトスペースを活用し、市内のイベントや講座等のチラシを配架するとともに、ご近所先生による体験ミニ講座を実施するなど、生涯学習に関する情報発信や人材活用の取り組みを行った。

なお、「ちえりあ学習ボランティア」、「ちえりあビデオクルー」などの学習支援者に対しては、Web会議サービスを活用した定例会や打ち合わせなどを実施し、休館中においても支援を継続した。

メディアプラザにおいては、2月の再開館に合わせ、これまで内部に所蔵していた音楽資料(CD)約1万2千点を全て開架した。

札幌市青少年科学館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策を徹底しながら事業を展開した。2度の臨時休館があったが、その間もホームページや SNS 上で天文情報や科学実験動画などの配信を行い、科学に関する知識の普及啓発に努めた。

プラネタリウムの学習投影では、臨時休館中に来館できなかった学校を対象に、学校のニーズにあわせて職員を派遣した他、オンラインでも学習投影内容を解説した。

夏の特別展では、東京オリンピック開催にあわせて運動時の身体の動きや動作の仕組みなどを、科学的に解明する「夏の大運脳会～スポーツは科学だ」を実施し、子どもたちと一緒に来館する大人の方々にも好評であった。

11月には、小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還カプセル実物を JAXA から借受け、はやぶさ2のプロジェクトを紹介する特別展を開催し、幅広い世代の来館があった。

冬の特別展として、忍者をテーマに、科学や科学技術を忍術に見立てて表現・体験してもらう「2022(にん・にん・にん)！さいゑんす忍者展」を実施し、たくさん子どもたちが館を訪れた。

また、科学館の開館40周年を記念し、科学館の歴史を振り返るクイズや展示物人気ランキングの他、展示室無料キャンペーン等のイベントを開催した。

公1 生涯学習普及振興事業

(定款第4条各号に掲げる事業)

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動および交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 学習機会提供・活動支援事業

(1) さっぽろ市民カレッジ

年間を3期(4～8月、9～12月、1～3月)に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系、合わせて82講座を実施し、1,127名が受講した。

市民の様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生(市民講師)の企画・運営による講座を実施するなど、市民に多様な学習機会を提供した。

さらに、市立札幌大通高校を会場として、高校生と大人と一緒に学ぶ「学社融合講座」では、受講生の世代を超えた交流を図った。

ア 市民活動系

地域課題について考える講座を中心に運営した。今年度は、コロナ禍においても、親子が心地よく生活できるアイデアを学ぶことを目的に「子育ておしゃべり会」(センター企画講座)などを実施した。

また、聴覚障害についての基礎知識を習得しながら、自己紹介や日常生活など身近な話題に関する手話表現を学ぶ「基礎から学ぶ手話講座」(学社融合講座)を実施した。

イ 産業・ビジネス系

実践的な内容でビジネススキルの向上を図る講座を中心に運営した。「社会でいきるコミュニケーション・基礎編」、「実践編」、「ビジネスマナー編」(学社融合講座)などを実施した。

ウ 文化・教養系

趣味や教養を学ぶことを入り口に、生きがいづくりや仲間づくりにつなげる講座として、「解説!現代史・秋」、「イタリアってどんな国?」、「幕末佐幕派諸隊・奮戦記」、「岩倉使節団がめざしたもの」などを実施した。(会場:中央図書館)

このほか、「地球環境と私たちの生活」や「筆ペン実践講座」(学社融合講座)、「北海道に花開いた縄文文化の魅力」「敗者の明治維新「北海道編」」(ちえりあ学習ボランティア講座:中央図書館)なども実施した。

また、「ご近所先生企画」講座では、「個人情報流出防止、安心のPC設定」(西岡図書館)などの講座も実施した。

【実績】さっぽろ市民カレッジ講座内訳

	センター 企画講座	学社融合 講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	講座数 計	受講者数 計
市民活動系	5	7	—	-	12	141
産業・ビジネス系	2	11	—	-	13	155
文化・教養系	9	19	4	25 (連携会場 17)	57	831
合計	16	37	4	25	82	1,127

※ 学社融合講座はコロナ禍により高校生のみで実施した講座を含む

(2) 生涯学習関連講座

ア 大学との連携事業

大学と連携して互いの特性を生かした講座を提供した。また、学びを通じた世代間交流・異年齢学習の推進を図った。

【実績】 札幌市立大学 「琴似の屯田兵の歴史を探る」 受講者8名
 北海学園大学 生涯学習に関するミニ動画作り 3本(動画制作のみ)

イ 民間企業などとの連携事業

それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、より専門的で深い知識を提供した。

【実績】 東洋水産株式会社連携講座 2講座 26名

ウ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

石山地区をテーマにした講座「札幌軟石と石山のまちづくり」を、地元で地域住民の生涯学習活動を支援している市民活動団体「石山大学」と連携して実施した。

【実績】 石山大学連携講座 1講座 9名

(3) 生涯学習普及事業

ア 北海道吹奏楽フェスティバル(共催:北海道吹奏楽プロジェクト実行委員会)

プロ講師やアマチュア演奏家と、中高校生が合奏をしながら音楽を楽しむコンサートを開催した。異世代の交流と教育プログラムの実践をメインに、吹奏楽活動の支援と普及を図った。

また、コロナ禍の対応としてオンラインでのライブ配信を行った。

【実績】 1公演 145名 参加校1校

イ カルチャーナイト(主催:カルチャーナイト実行委員会)

「カルチャーナイト」では、公共・文化施設、企業施設の夜間開放や動画配信などを通じてさまざまな文化プログラムを提供している。当事業には毎年参加をしており、今年度においては、動画配信を行った。

【実績】 7/16(金)「ちえりあニュース」など

ウ 市民交流スペース「ちえテラス」運営

生涯学習支援スペース「(愛称)Chie Terrace(ちえテラス)」で、小学生以下を対象にした「ぬりえ・おえかき展」を実施した。

【実績】 3月 9点展示

(1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

ア 市民講師育成事業(ご近所先生)

ご近所先生企画講座の講師を希望する市民を対象に、講師としての資質向上とスキルアップを目的とした研修会などを動画配信などにより実施した。

【実績】 説明会 5回 34名
研修会 4回 58名
交流会 1回 22名

イ 生涯学習ボランティア育成事業

市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」の活動として、企画内容や運営方法について話し合う定例会などを実施した。

【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者数 47名

ウ 職場体験などの受入れ

大学生の職業体験について、オンラインを活用して実施し、生涯学習に係る実習の機会を提供した。

【実績】北海学園大学(10~2月) 11名

エ 生涯学習関連施設職員研修

区民センター、地区センターなどの職員を対象に、生涯学習関連事業の企画立案や、広報に必要な知識やノウハウ等を学ぶ研修を実施した。

【実績】1回 16施設 89名(オンライン形式)

(2) ボランティア等活用事業

ア 学習支援者活用・育成事業

(a) ちえりあビデオクルー

ビデオ撮影ボランティア「ちえりあビデオクルー」は、生涯学習センターの事業や地域のイベント等での撮影を行っている。今年度は撮影機会が減少したが、団体の活動内容を話し合う定例会を実施した。

【実績】登録者数 21名

(b) カメラボランティア

写真撮影ボランティア「カメラボランティア」は、主に活動地域にて写真の撮影を行っている。今年度は撮影機会が減少したが、休館中の活動成果の発表の機会として、イトーヨーカドー福住店の生涯学習センターのサテライトスペースで活動写真展を実施した。

【実績】登録者数 13名

(1) 施設の貸与

ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を条例に基づき有料で提供した。

【実績】 貸室利用件数 1,149 件 貸室利用率 48.3% (2~3月)

イ ロビー・ギャラリーの活用

ロビー・ギャラリーをさっぽろ市民カレッジの講座情報や、ちえりあ学習ボランティアの活動に関する展示などに提供した。

【実績】 ロビー3件 ギャラリー2件

(2) 学習相談・情報提供

ア 学習相談、サークル・講師の紹介

生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、相談内容によっては「ちえりあ市民講師バンク」登録講師やサークルを紹介するなど、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

【実績】 メディアプラザ学習相談 5,812 件

ちえりあ市民講師バンク登録者数 214名

サークル登録 148件

イ 広報誌の発行

生涯学習センターの事業や講座、及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあつて」を発行し、市内公共施設などに配布したほか、LINEによる広報誌の配信を行った。

【実績】 4回発行(5月、8月、11月、2月) 各 9,000 部

LINE 公式アカウント友達登録者数 671名

ウ ホームページの活用

講座や、改修工事による長期休館中に設置した臨時窓口における図書コーナーや、貸室受け付けに関する情報、新型コロナウイルス感染症への当館の対応に関する情報などを発信した。

【実績】 ホームページアクセス数 483,059 件

エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

市民向けに学習機会を提供している各種施設の主な開催講座等の情報を掲載する冊子「さっぽろ生涯学習情報 大人の学び場MAP」を発行し、市内の公共施設等で配布した。

【実績】 2回発行(8月、3月) 各 3,000 部

オ 「子どもの学びガイド」の発行

市内の公共施設で開催される子ども向け事業を紹介する、案内チラシ「子どもの学びガイド」を制作した。小学校の夏季・冬季休暇前に、市立小学校の全児童に配布して、児童と保護者に情報提供を行った。

【実績】 4回発行(6月、7月、11月、12月) 各 93,000部

カ 調査研究事業

新型コロナウイルス感染症影響下にあっても安全に受講できる非接触型の講座として、「ラジオ講座」と「オンライン講座」の有料講座を試行的に実施し、その効果や課題を検証した。

【実績】 「手島兼輔・古代ギリシアへの誘い」(ラジオ講座) 31名

「検証・江戸幕府崩壊」(オンライン講座) 5名

キ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 札幌市生涯学習センター運営協議会

札幌市生涯学習センターの事業や運営についての意見を今後の施設運営の改善に生かせるよう、利用者の代表や外部有識者などによる協議会を開催した。

【実績】 3回実施(書面開催) 8月、11月、3月

(b) 利用者アンケートの実施

開館後2か月間(うち2月1日(火)～3月20日(日))のセンター利用者を対象に、接遇などの満足度を測るアンケートを実施した。

(2) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出し、資料収集並びに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

市民の調べ学習に役立つ図書資料及び音楽資料(CD)の閲覧・貸出などを行うとともに、レファレンスサービスを通じて学習活動の支援を行った。

また、市内における他の図書館との相互取次サービスに対応した。

なお、4月～1月まではセンター前の臨時カウンター、2月～3月はメディアプラザカウンターにて業務を行った。

【実績】 メディアプラザ来場者数 17,851名(2～3月)

カウンター対応者数 21,420名(通年)

図書の貸出・予約件数 32,232件(通年)

図書・CD貸出数 29,916点(通年)

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

4 科学及び科学技術普及振興事業

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(a) 日曜実験室

小中学生を対象に、身近な題材や現象を取り入れた実験教室を日曜・祝日に実施した。

【実績】 4月～6月 「おもしろ電池 作って ためて 動かして」 6回 32名
7月～10月 「マイクロアドベンチャー 結晶の世界」 15回 99名
11月～2月 「マイクロアドベンチャー 水の中の小さな生き物の世界」 19回 113名
3月 「G-SHACK! ?ちょっと不思議なはたらき」 5回 31名

(b) サイエンジャー科学教室

地域や企業、団体と連携し、小中学生の科学への興味・関心を高めるため実験やプログラミングなどを行った。

【実績】 10/23(土) 「自分の手で携帯電話を分解しよう/KDDI株式会社」
1回 10組21名
1/11(火) 「お菓子でおかしなサイエンス/北海道小学校理科研究会」
2回 12名・10名

(c) 科学館の工作室

工作を通して科学原理の理解を深める機会を提供するため、主に小中学生を対象に工作教室を実施した。

【実績】 ① 通常(日祝) 4/11(火)～3/21(月)
「桜スコープ」「森のアスレチック」ほか 68回305名
② 春休み工作会 4/2(金)～4(日)
「スーパーわに太郎」 6回36名
③ GW 工作会 4/29(木)、5/1(土)～2(日)
「ぐるぐるかんらんしゃ」 5回19名
④ 夏休み工作会 7/22(木)～25(日) 7/31(土)～8/3(火) 8/7(土)～10(火)
「ゴム鉄砲とマト当てづくり」 24回136名
⑤ 冬休み工作会 1/7(金)～10(月) 1/13(木)～16(日)
「お城から忍法で脱出しよう」 16回66名
⑥ 春休み工作会 3/26(土)～28(月)
「ぐるぐるかんらんしゃ」 6回29名

(d) 大人のための天文教室

星空を楽しむ基礎知識を学ぶ初級者向け「やさしく学ぶ星空教室」や最新の宇宙のニュースや天文現象などを詳しく紹介する中級者向け「詳しく学ぶ天文講座」を実施した。

【実績】 33名「やさしく学ぶ星空教室」 10/8(金)・22(金)・11/5(金)

35名「詳しく学ぶ天文講座」 1/28(金)・2/11(金)・25(金)・3/11(金)

(e) 親子天文教室

小学生とその保護者を対象に、天文工作と天体観測を組み合わせた天文教室を実施した。

【実績】 夏休み 2回 34組 89名

冬休み 3回 50組 116名

(f) 宇宙セミナー

はやぶさ2帰還カプセル巡回展示にあわせ、はやぶさ2プロジェクトで試料分析のとりまとめをされている専門家によるオンライン講演会を実施した。また、アーカイブ映像をYouTubeにて公開した。

【実績】 105名 11/21(日) 講師:橘 省吾 氏

「はやぶさ2地球帰還！リュウグウからの玉手箱の中身は？」

(g) 先端科学技術講座

最先端の科学技術への興味・関心を高めるため、常設展示では補えない最新の科学研究について紹介する講演会をオンラインで実施した。

【実績】 72名 1/15(土) 山崎直子宇宙飛行士オンライン講演会「宇宙への挑戦」

(h) 科学教室(大学生による科学教室)

大学生が講師を務める小学生対象の科学教室を開催した。

【実績】 9名 2/19(土) 「コンデンサのはたらきを探ってみよう」

(公立千歳科学技術大学 理科工房)

イ 出前イベント

(a) 移動天文台

学校や町内会、青少年育成委員会などからの要請により、移動天文車と職員及び天文指導員を派遣し、望遠鏡を用いた天体観望や星空解説を行う観望会を実施した。

【実績】天体観望実施 7件

(b) 移動プラネタリウム

小学校 12校、中学校1校に出向き、学習投影を行った。また、中学校 1校に Zoom によるオンライン授業を行った。

【実績】 小学校12校12回 中学校2校2回(うちオンライン1校1回)

ウ その他科学普及に関する事業

(a) 科学クラブ運営

リピーターの拡大を図るため、小中学生を対象に会員を募り、会員向けのメールマガジンを発行し、職員による科学コラムを掲載するなどの教育普及活動を行った。

また、会員向けイベントとして特別展バックヤードツアーを行った。

【実績】 会員28名

7/17(土) 夏の特別展バックヤードツアー 12名

12/18(土) 冬の特別展バックヤードツアー 5名

(b) 職場体験などの受入れ

児童・生徒の総合的な学習や学生の自主研修などへの支援として、実習生を受け入れ指導した。

【実績】 星槎もみじ中学校 3名

青葉中学校 オンライン職員インタビュー(職業体験代替事業)

(c) 実験実習セット貸出し及び制作

学校での効果的な授業作りに役立つ実験・実習セットを貸し出すとともに、観察試料用の微生物を提供した。

【実績】 貸出21団体80セット

(d) 教員研修

札幌市教育センターからの依頼により、教員を対象に、小学校理科における観察・実験の基礎・基本や、指導の実態及び工夫について学ぶ研修を行った。

【実績】 3回 38名 7/29(木)、1/7(金)、1/14(金)

札幌市教育センター専門研修「小学校理科実験入門」

(e) 博物館実習等の受入れ

大学からの依頼により、学芸員の資格取得を目指す大学生等を受入れ、指導した。

【実績】 9/1(水)~12(日) 博物館実習(北海道大学、京都府立大学) 3名

12/24(金) 博物館実習の見学実習(北海道大学) 8名

エ 共催事業・協力事業

(a) 夏休み天体観望会

定山溪自然の村で、ペルセウス座流星群が多く流れる時期に天体観望を実施した。

【実績】 8/12(木) 92名

(b) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」

「宇宙の日(9月12日)」を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品の募集と、入賞作品の展示を行った。

【実績】 応募作品数 51作品(最優秀賞:2作品 優秀賞:6作品 佳作9作品)

(c) 他団体との連携による科学教室等

大学や研究団体と連携し、コロナ禍の中でも実施可能な形態により、動画コンテンツの提供や学生の展示物企画提案に対するアドバイス等の事業協力を行った。

【実績】8回 6,236名/53再生(中止回を除く)

	日程	名称	形態・連携先	参加者数等
1	7/19(月)~ 8/31(火)	2021 サイエンスパーク	2021サイエンス パーク事務局 (オンライン参加)	53再生
2	8/11(水)	地域プロジェクト演習 (オンライン実施)	札幌市立大学	(オンライン)3名
3	11/6(土)	サイエンZOO 動物園科学の日	札幌市円山動物園	(オンライン)20名 (会場)20名
4	11/7(日)	スカベンジャー ロボット教室	北海道大学 ロボットアーキテクト	中止
5	11月	マイコンレーサー 北海道大会	北海道ロボット 教育推進会	中止
6	12/26(日)	手作り望遠鏡を作ろう ~作って、知る、天体観測~	北海道情報大学	11組 12名
7	12/24(金)~ 1/21(金)	ふしぎ☆おどろき サイエンスキッズ	札幌市子ども会育成 連合会	(オンライン)463名
8	1/22(土)~ 1/23(日)	第9回 CISE サイエンス・ フェスティバル in 北大総合博物館	CISE ネットワーク 事務局	中止
9	2/26(土)	さっぽろのまちをマイクラフ トで作ってみようで作ってみ よう	さっぽろ産業 振興財団	(オンライン)62名
10	2/27(日)	青少年のための科学の祭典 in 北海道	科学の祭典 in 北海道 実行委員会	中止
11	3/11(金)~ 3/20(日)	東日本大震災に関する パネル展ほか	札幌市防災協会	展示室観覧者 数 4,193名
12	3/12(土)~ 3/13(日)	ジオ・フェスティバル in Sapporo 2021	ジオ・フェスティバル in Sapporo2021 実行委員会	展示室観覧者 数 1,463名 (体験教室参加 者 88組 206 名)

ア 天文指導員の養成

定期研修や天文事業への参加機会を提供して天文普及の一翼を担う人材を養成した。

【実績】登録者数37名(継続者)

イ 展示ボランティア等の養成

展示ボランティアは生物試料の育成活動を行い、工作ボランティアは工作会の企画や運営補助を行うことで、それぞれの事業の円滑な実施へとつなげた。

【実績】登録者数 4名

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学資料の収集

(a) 科学技術に関する資料の収集

展示物の更新・改良の基礎資料及びPOPのデザイン等を作成する際の参考として、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。

(b) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、職員が自ら撮影した天体写真などの資料を収集し、館内掲示やホームページ等で公開した。

【実績】 5 月 水星、皆既月食 6月 月面X、月と金星の接近
7 月 土星、木星 8月 パルセウス座流星群
9 月 中秋の名月 10月 太陽黒点
11月 部分月食 12月 レナード彗星、最小の満月
1 月 金星 3月 ダイヤモンド羊蹄、惑星集合

イ 科学情報の提供・学習支援

(a) 「星空散歩」の発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを隔月で発行し、市内公共施設などで配布した。

【実績】 6回発行(4月、6月、8月、10月、12月、2月) 計42,500部

(b) ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページに科学トピックスや学習支援のためのワークシートなどを掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行った。

また、臨時休館中は Twitter を利用して天文事象や科学実験を紹介したほか、YouTube でプラネタリウムの特別投影やオンライン観望会の動画配信を試みるなど、オンライン上での活動に力を入れた。

【実績】 ホームページアクセス数 403,038 件

5

青少年科学館等管理運営事業

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(a) 常設展示

見て、触れて、考えるをテーマに、各コーナーの展示物をより楽しく理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらうための展示を行った。

【実績】

日程	タイトル	展示室利用者数
4/29(木・祝)～ 5/3(月・祝)	ウインキーのゴールデンウィークサイエンスツアー	1,509名
10/3(日)	みんなで飾ろう！アニバサリーケーキ	700名
10/30(土)～31(日)	Theトリックオアトリート ～タネも仕掛けもあるマジックはいかが～	1,454名
2/1(火)～2/27(日)	SNOW MIKU 2022×札幌市青少年科学館	3,683名

(b) 展示実演等

① サイエンスショー

来館者とのコミュニケーションを図りながら科学への興味・関心を深めてもらえるよう、不思議な現象の紹介や楽しい実験などの実演ショーを行った。

【実績】500回 9,325名

日程	タイトル	実績数	参加者数
4月	「音、光、地震・・・並じゃない波」	52回	925名
5～8月	「う～ん？どうして？運動のふしぎ」	119回	1,973名
9～12月	「からだのセンサー ふしぎなセンサー」	160回	3,613名
1～3月	「うずうずしちゃう渦」	169回	2,814名

② テレビスタジオ

クロマキーなどテレビ番組で使われている特殊効果を紹介するとともに、実際に撮影体験してもらう参加型の実演を行った。

【実績】2回/日(土日・祝日及び特別展期間中 3回/日)

③ 人工降雪装置

人工的に雪が降る状態に近い環境を作ることで、雪を降らせることができる装置の公開を行った。

【実績】2回/日

④ ちょびっとサイエンス

館外の科学館前広場などで、簡単な科学体験や実演を行った。

【実績】10回 225名 「バランスチェック」「反射神経チェック」など

(c) 実験・実習への協力

札幌市教育委員会主催により、科学館の展示物を活用し、市内の小中学校の理科の授業の実施に協力した。

【実績】6校 714名

イ 特別展等

(a) 特別展

夏休みや冬休みなどの期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示中心の特別展を開催した。今年度は、宇宙や科学への興味関心をいだかせるため、はやぶさ2帰還カプセル特別展示を開催し、関連してプラネタリウムの特別投影やオンライン講演会などを行った。

【実績】 7/24(土)～8/15(日)

「夏の大運脳会～スポーツは科学だ～」23日間 15,958名

11/13(土)～23(火)

「札幌市青少年科学館40周年記念イベント

はやぶさ2帰還カプセル特別展示 in 札幌」11日間 12,839名

1/5(水)～23(日)

「2022!さいゑんす忍者展」19日間 8,487名

(b) 環境科学展

市内等の企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などについて各企業・団体の活動紹介を行うパネル展を実施した。

また、子どもにも楽しんでもらえるよう、クイズ形式の展示を行った。

【実績】 10/27(水)～11/7(日) 12日間 7,486名

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影・解説

(a) 一般投影

観覧者の年齢層にあわせて内容や話し方を工夫した生解説をするなど、星座や天文知識を分かりやすく紹介した。また、リピーターを増やすため、プラネタリウムを見た回数によってプラネタリウムの裏側探検などの特典がつくプラネタリウムスタンプを導入した。

【実績】 865回 44,954名

(b) 学習投影

小中学校を対象に、理科授業の一環として、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。休館に伴い来館できなくなった学校には、学校へ職員を派遣した他、オンラインで学習投影内容を解説するなどした。

また、学習投影内容を収録したオリジナルDVD教材を貸し出した。

【実績】 177回(うち職員派遣16回 オンライン3回)

12,377名(オンライン除く)

(c) オート番組制作

プラネタリウムオート番組(ドーム全体に投影されるアニメーション動画)を制作・購入した。

【実績】 1月上映開始

「忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント☆NEXT 太陽系のお友だちの段」

3月上映開始

「ヒーリングアース」

オリジナルオート番組「うさぎ月夜のふしぎ旅」(制作)

イ プラネタリウム特別投影

(a) 特別投影

通常のプログラムとは趣向を変え、旬の話題や現象について深く掘り下げた専門性の高い投影を行った。

【実績】 11回(うち配信1回)993名、5,004回再生

日程	プログラム内容	参加者数等
5/22(土)	「皆既月食～赤い月の神秘～」	1回(配信のみに変更) 5,004回再生 (3/31時点)
7/24(土)～25(日)	「スポーツ&スター スペシャルショー」	2回144名
11/13(土)～14(日)	「はやぶさ2～生命のカケラを求めて～」	2回224名
12/25(土)～26(日)	「中垣哲也オーロラ投影&トークショー」	2回208名
2/5(土)、6(日)	「SNOW MIKU ナイトプラネタリウム ～ Twinkle Stars Harmony ♪3～」	4回417名

(b) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な人も理解できるように、字幕付きの投影を行った。

【実績】 11/6(土)～7(日)、3/12(土)～13(日) 4回383名

(c) キッズプラネタリウム

未就学児とその保護者を対象に、童謡やクイズを取り入れた親子で参加できる特別なプラネタリウムの投影を行った。

【実績】 3/15(火)～17(木) 3回214名

ウ 天体観望事業

(a) 天体観望会

市民の天文への興味・関心を高めるために、札幌市青少年科学館の屋上天文台や札幌市天文台の望遠鏡の映像をYouTubeで配信した。

【実績】 4回 171,619回再生

5/26(水) 皆既月食 166,913回再生

6/17(木) 月面X 633回再生

11/8(月) 金星食 894回再生

11/19(金) 部分月食 3,179回再生

(b) 札幌市天文台公開

天文に関する興味・関心を高めるため、札幌の中心部に程近い中島公園内にある札幌市天文台を公開し、日中は太陽を中心に、夜は季節の星座を中心に観望会を実施した。

【実績】340回 3,641名

(c) プラネタリウム祭り

幅広い観客層に興味を持ってもらえるように、通常の投影とは異なった内容を取り入れて実施した。

【実績】12/4(土)～5(日)、12/11(土)～12(日) 4日間 2,137名

「プラネでチャレンジ! 宇宙クイズ」「キッズプラネ」「星空ヒーリング」

「スペシャルスターダービー」「プラネでGoTo! 地球旅行」

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

科学館の行事を掲載した広報誌を発行し、市内の公共施設、幼稚園、小中学校などに配布した。また、区役所や区民センターなどのコミュニティ施設や図書館などの社会教育施設に配布し、市民への情報発信に努めた。

※6月と9月は休館に伴い休刊

【実績】10回 計69,000部

イ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 利用者アンケートの実施

館の運営や事業に生かすため利用者の声を集めるアンケートを Web 形式で実施した。

【実績】156名

(b) 科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者、地域有識者などからなる協議会を開催した。協議会ではコロナ禍に対応したオンライン事業などの事業について意見をいただいた。

【実績】3回実施(オンライン) 6月、10月、2月

(c) 科学館開館記念感謝デー(スペシャルサイエンスデー)の開催

開館40周年を記念し、科学館の歴史を振り返るクイズや展示物人気ランキングの他、特別展や展示室無料キャンペーン等のイベントを開催した。

【実績】10/1(金)～11/28(日)

展示物人気ランキング、科学館横断タイムトラベルクイズ

11/13(土)～11/23(火)

小惑星探査機はやぶさ2帰還カプセル特別展示 in 札幌(再掲)

12/1(水)～12/12(日)

展示室無料キャンペーン

収1 物品販売等事業

(定款第4条第6号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした売店事業を行った。

(2) 自動販売機の設置・販売

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行った。

(3) 飲食店の運営

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、「Chie Terrace(ちえテラス)」における飲食店運営をタリーズコーヒージャパン(株)に委託し、来館者への飲食等提供事業を行った。

センターの改修工事後の開館に合わせ令和4年2月に再オープンした。

他1 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

(定款第4条第5・6号に掲げる事業)

(1) 駐車場管理業務

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、駐車場の管理運営を行った。

(2) 施設管理受託業務

札幌市から受託した、札幌市生涯学習総合センター内の札幌市教育センター、宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢などの警備業務を行った。

● 令和3年度 管理運営施設利用状況

● 札幌市青少年科学館観覧者数

		令和3年度			前年度 (令和2年度)
		個人	団体	合計(人)	
展示室	大人	43,403	3,202	46,605	33,142
	小人	44,782	17,303	62,085	42,830
小計		88,185	20,505	108,690	75,972
プラネタリウム	大人	22,521	1,435	23,956	17,475
	小人	20,615	12,993	33,608	22,982
小計		43,136	14,428	57,564	40,457
合計		131,321	34,933	166,254	116,429
1日あたりの観覧者数 (人)		773			414

● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況

項目		令和3年度	前年度対比	令和2年度
貸室(25室)	利用率 (%)	48.3%	77.4%	62.4%
	利用人数 (人)	28,420	19.6%	144,829
1日あたりの利用者数 (人)		82	19.7%	417

● メディアプラザ利用状況

項目	令和3年度	前年度対比	令和2年度
メディアプラザ利用人数 (人)	86,782	48.7%	178,135
一日あたりの利用者数 (人)	294	57.3%	513

● 令和3年度 管理運営施設利用状況

項目		令和3年度	前年度対比	前年度 (令和2年度)
ホール	利用率	50.9%		35.4%
	利用人数	9,839	32.9%	29,940
講堂	利用率	47.4%		56.8%
	利用人数	3,414	15.5%	22,058
大研修室	利用率	45.6%		59.1%
	利用人数	1,990	18.5%	10,729
中研修室 1	利用率	31.6%		56.8%
	利用人数	1,016	16.0%	6,343
中研修室 2	利用率	28.1%		60.3%
	利用人数	932	15.4%	6,046
演劇スタジオ 1	利用率	63.2%		80.5%
	利用人数	1,073	14.1%	7,624
演劇スタジオ 2	利用率	78.9%		88.3%
	利用人数	888	20.7%	4,286
音楽スタジオ 1	利用率	70.2%		63.8%
	利用人数	402	26.3%	1,528
音楽スタジオ 2	利用率	61.4%		64.6%
	利用人数	377	20.8%	1,812
映像スタジオ	利用率	35.1%		65.4%
	利用人数	527	9.9%	5,345

● メディアプラザ音楽・映像教材保有数

	CD	LP	SP	LD	VHS	DVD	合計
保有数	12,665	8,763	1,946	1,884	192	1,229	26,679
うち新着数	163	0	0	0	0	8	171

令和3年度

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための事業対応

※ 全事業共通対応:換気・除菌の徹底、間隔の確保、実施回数・定員の縮小 等

【札幌市生涯学習センター】(臨時カウンター閉鎖期間:令和3年5月4日~令和3年7月11日)

【01】中止事業

事業名・イベント名	日程	回数
ちえりあビデオクルー 月例	5/15(土)	1回
ちえりあ学習ボランティア 月例	5月、6月、8月、9月	4回
カメラボランティア 月例	5月~9月	5回
市民ファンリテーター	通年	—
コーラスボランティア	通年	—
さっぽろ市民カレッジ ※ 延期講座は除く ※ 学社融合講座は、高校生のみで開講した講座は除く	—	53講座
CD コンサート	3/16(水)	1回

【02】変更事業

事業名・イベント名	日程	回数	対応
市民講師の育成 (ご近所先生講師研修会)	4/20(火)~26(月) 7/20(火)~26(月)	2回	オンデマンド配信
「北海道に花開いた縄文文化の魅力」 (ちえりあ企画講座)	7/9(金)~8/6(金)	全4回	日程変更(1回目(7/9(金))を延期→7/16(金) へ)
ビデオクルー7月定例会	7/17(土)	1回	会場変更
学社融合講座 (市立札幌大通高校)	4月~8月	—	一般市民の受講を休止し、高校生のみで実施 (一部一般市民参加講座もあり)
「その課題、マーケティングが解決します!」 (さっぽろ市民カレッジ)	8/25(水)~10/13(水)	全1回	全6回→全1回に変更
「敗者の明治維新「北海道編」」 (さっぽろ市民カレッジ)	9/30(水)~10/21(水)	全3回	全4回→全3回に変更
「毎日の動作を見直して健康に!」 (さっぽろ市民カレッジ)	8/19(水)~9/16(水)	全2回	全5回→全2回に変更
学社融合講座 (市立札幌大通高校)	9月~1月	—	一般市民の受講を休止し、高校生のみで実施 (一部一般市民参加講座もあり)

【札幌市青少年科学館】（休館期間：令和3年5月3日～7月12日、8月28日～9月30日）

【01】中止事業

事業名・イベント名	日程	回数
日曜実験室	5/3(月)～7/11(日)の日祝 8/28(土)～9/30(木)の日祝	20回
サイエンジャー科学教室	6/12(土)、7/10(土)	2回
科学館の工作室	5/9(日)～7/11(日)の日曜 8/28(土)～9/30(木)の日祝	30回
「GW 工作会」	5/3(月)～5(水)	6回
「秋の工作会」	9/18(土)～20(月)祝	6回
移動天文台	8/28(土)～9/30(木)	8回
共催・協力事業		
「昼間の星を見よう in サッポロさとらんど～さっぽろ星まつり～」	8/28(土)29(日)	2日
「創意くふう作品展(表彰式)」	9/18(日)19(日)	2日
「マイコンレーサー北海道大会」	未定	1回
「第9回 CISE サイエンス・フェスティバル in 北大総合博物館」	1/22(土)23(日)	2日
常設展示		
「ウインキーのゴールデンウィーク サイエンスツアー」	5/3(月)～5(水)	3日
「科学館を楽しむ方法講座」	7/12(土)	1回
展示実演等		
「サイエンスショー」	5/3(月)～7/12(月) 8/28(土)～9/30(木)	—
「テレビスタジオ」	5/3(月)～7/12(月) 8/28(土)～9/30(木)	—
「人工降雪装置」	5/3(月)～7/12(月) 8/28(土)～9/30(木)	—
「低温展示室」	当面の間	—
「スーパードリームライド」	当面の間	—
「ゴールデンウィークスペシャルサイエンスショー」	5/3(月)～5(水)	3回
「中高生によるサイエンス広場」	11月未実施予定	1回
プラネタリウム一般投影	5/3(月)～7/12(月) 8/28(土)～9/30(木)	—
天体観望事業		
「札幌市天文台夜間公開」	4/29(木)、30(金)、5/1(土)～4(火)、21(金)～23(日)、26(水)、6/11(金)～13(日)、18(金)～20(日)、7/9(金)～11(日)、9/17(金)～21(火)	24回
「昼間の星を見よう」	当面の間	—

【02】 変更事業

事業名・イベント名	日程	回数	対応
大人のための天文教室 「やさしく学ぶ星空教室」	6/11(金)、25(金)、 7/9(金)	3回	10月に日程変更
先端科学技術講座	1/15(日)	1回	オンライン講演会形式で実施
共催・協力事業 札幌市立大学「地域プロジェクト演習」 「サイエン ZOO」	8/11(水) 11/6(土)7(日)	1回 2日	オンラインで対応 ブース出展の中止、サイエンスショーのみ実施
「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」	募集 7/1(水)～9/12(日) 作品展 1/5(水)～23(日)		館内での審査に変更 表彰式を行わず、賞状・副賞を郵送 作品展の期間を例年より延長
天文指導員の養成 「天文指導員研修」	9/25(土)、10/30 (土)、11/27(土)	3回	オンライン研修の実施
特別展 「夏の大運脳会 ～スポーツは科学だ～」 特別講演会「スポーツの力」	8/7(土)、8(日)、10(水)、 14(土)、15(日)	5回	定員、会場の変更
「環境科学展」	10/27(水)～11/7(日)	10日	ブース出展形式を取りやめ、パネル展形式で実施
プラネタリウム学習投影	8/28(土)～9/30(水)	16回 (うちオンライン授業3回)	職員が各学校に出向き、天体に関する出前授業を実施
プラネタリウム夜間特別投影 「皆既月食～赤い月の神秘～」	5/22(土)	1回	YouTubeにて投影内容の配信
天体観望会	5/26(水)、6/17(水)、 11/8(月)、19(金)	4回	YouTubeにて配信
札幌市天文台夜間公開	8/7(土)8(日) 8/20(金)～22(日)	5回	時間変更 20時開始→19時開始
利用者アンケート	通年		対面式から web アンケートに変更
スペシャルサイエンスデー (40周年記念事業)	通年		特定の日に行うイベントから、期間を設けた周年事業イベントとして実施

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年6月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団